

広報なりたで振り返る

あの日、あの時

第3回 梅雨を彩る市の花「アジサイ」

市のさまざまな情報を発信している広報なりた。当時の出来事や取り組みが記された紙面からはその時代のまちの空気が伝わってきます。ここでは、これまでに発行された広報なりたを通して、まちの歩みを振り返ります。

選定結果を伝える平成6年3月15日号

みんなで選んだ

成田市の花は あじさい

市では、市制40周年の記念事業として「成田市の花」の選定を始めていましたが、2月9日、市の花選考委員会を開き、一般募集（郵便投票）の結果を参考に慎重に検討した結果、「あじさい」と決まりました。



市の花「選定候補」



あじさい



インパチエンス



ききょう



きく



すいせん



すみれ



ゼラニウム



ペゴニア



ばたん



やまゆり



らん

候補は11種（平成6年1月1日号から）

■ 選 定 理 由 ■

雨の中で咲いている涼やかな青色の「あじさい」は、蒸し暑い梅雨どきにさわやかさを感じさせてくれる。

華やかなようでもしっとりとした花の姿は、門前町成田にふさわしい。

「あじさい」は土壌の酸度により、花の色が変わり、さまざまな花の色を楽しませてくれる。

印旛沼周辺などを中心に、市内のあちこちで植栽されている。

市民意章の花いっぱい運動の中で、特に「あじさい」に力をいれて市内に植栽した経過がある。

梅雨の季節になると、市内のあちこちで色鮮やかに咲き始めるアジサイ。土壌の酸度によって赤や青、紫へと色が変わり、蒸し暑いこの時期に爽やかな涼しさを感じさせてくれます。

誰もが親しみやすく、栽培しやすい市のシンボルとして「市の花」に選ばれたのは、平成6年のことです。この年は、本市の誕生から40年を迎えた年。市の花の選定は記念事業の一環として行われ、同年1月1日号で11種の候補から

投票を呼び掛けました。郵便投票の結果を参考に選ばれたのがアジサイです。それ以前からも、種の配布などを行った花いっぱい運動などを通じて大切に植えられ、市民の皆さんに親しまれてきたこの花。まちに根付いてきたのは、市民の皆さんの手によるものです。

雨に濡れて、美しさがより一層増すアジサイ。外出の際は、街角や公園などに咲く市のシンボルに、目を向けてみませんか。

令和8年6月15日号 No.1557



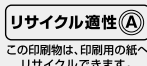
成田市ホームページ
<https://www.city.narita.chiba.jp>

*QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です

*本紙は6月4日時点の情報を掲載しています。最新情報は各ページの問い合わせ先や市ホームページで確認してください。

編集後記

6ページでは市のSNSを紹介しています。各媒体でフォロワーが増える中、特に好調なのがInstagram。広報紙は紙面に限りがあり、掲載したい写真を載せきれないことが少なくありません。時には、写真の向きと掲載位置が合わず、バーストショットが泣く泣くお蔵入り、なんてことも。Instagramでは、そんな写真も余さず載せつつ、イベントの様子を伝える動画も配信しています。ぜひ一度はご覧を。気に入ったらフォローもしてくださいね。



広報なりたは、グリーン購入法に基づく基本方針の判断基準を満たす用紙、誰にでも読みやすいUD(ユニバーサルデザイン)フォントを使用しています。